

研究種目：基盤研究 (C)
研究期間：2007～2010
課題番号：19530335
研究課題名 (和文) 職場を蝕む「裸の王様」症候群の解明—仕事のスムーズな「流れ」への一考察—
研究課題名 (英文) Exploring the “Emperor’s New Clothes” syndrome in workplaces: A study of workflow
研究代表者
築達 延征 (CHIKUDATE NOBUYUKI)
広島大学・大学院社会科学研究所・准教授
研究者番号：50255238

研究代表者の専門分野：警衛組織論
科研費の分科・細目：経営学・経営学
キーワード：組織化・ワークフロー・コーディネーション

1. 研究計画の概要

本研究の目的は、「裸の王様」症候群のメカニズムを解明することである。「裸の王様」症候群とは、職場での個々の職務・役割間で適切に調整されなくとも偶発的に発生しうる職場でのスムーズな仕事の「流れ」が好ましくない結果をもたらす現象を意味する。さらに、この「流れ」は非倫理的な実務で非難される企業ならびに大惨事を引き起こす企業の組織文化においても存在しえる。本研究は、この好ましくない「流れ」に関するメカニズムを解明することである。以下、おおよその研究計画を記した。

(1) 文献調査ならびにクリティカル・レビュー

ワークフロー・コーディネーション・組織化理論を中心に、職場の「流れ」に関する文献調査を行う。

(2) 質的調査

知識集約型企業・IT 企業で質的調査を行う。

(3) 計量的調査

質的調査で得られたデータから、計量的調査をデザインし、「流れ」のメカニズムを測定する。

なお、各段階において得られた成果をまとめ論文化し、国際学会等で報告する。また、国際レフェリー制ジャーナルへも投稿する。

2. 研究の進捗状況

平成 22 年 3 月末の段階では、文献調査ならびにクリティカル・レビューを終了し、質的

調査を終了しつつある。

文献調査・クリティカル・レビューは以下の要領でおこなった。

(1) 個を単位とした「行為」・「出来事」の連鎖反応に関する文献のクリティカル・レビュー

個を単位とした「行為」・「出来事」の連鎖反応に関して、複数の視点からレビューを行った。社会心理学・組織行動論で Allport と Weick が先駆者となった個と個の連鎖のダイナミクスから発展させた研究、社会学の構造化理論・エスノメソドロジーを発展させた研究、さらに、近年のアクションネット・オートポイエーシス理論までレビューした。

(2) 問題のある状況でとりえる個人の反応・行動に関する文献のクリティカル・レビュー

問題のある状況でとりえる個人の反応・行動に関して、主に、社会心理学・組織行動論での研究をレビューした。具体的には、Hirschman の「離脱・発言・忠誠」、ならびに、その改訂版の「離脱・発言・忠誠・無視」モデル、Latané と Darley の「静かなる傍観者」、Argyris の「防衛的なルーティーン」・「組織学習の失敗」等を含む近年の到達点までレビューした。

筆者に利用許可が出ている日本の図書館では、これらの文献調査・クリティカル・レビューを完成させることが不可能であったため、筆者へ図書館利用許可(オンライン・データベースからのダウンロードも含め)が出ているアメリカの大学図書館へ出向く必要が

あった。

(2) 質的調査

首都圏にある IT・情報系企業で、質的調査を実施した。平成 22 年 3 月末の段階では、質的調査で得られたデータを分析中である。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

(理由)

文献調査、クリティカル・レビューの成果を論文化したものは、Academy of Management と Euro-Asia Management Studies といったレフェリー制国際学会で報告している。しかしながら、国際レフェリー制ジャーナルへ投稿中であるが、掲載は決まっていない。さらに、質的調査の分析とその結果の論文化は未完成である。

4. 今後の研究の推進方策

計量的調査に協力してくれる企業と折衝し、できるだけ早い時期に、計量的調査を実施する。さらに、その成果を論文化し、国際学会・国際レフェリー制ジャーナルで発表する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 0 件)

[学会発表] (計 5 件)

① Chikudate, N. (August 10, 2009). Autopoiesis Revisited in a Japanese IT Company: Biological Natures of Learning. Paper to be presented at Academy of Management 2009 Conference, Chicago, U.S. A.

② Chikudate, N. (December 4, 2008). Intangible form of control in a Japanese advertizing and consulting firm: The Emperor's New Clothes revisited. Paper presented at Euro Asia Management Studies Association 2008 Conference, Kyoto, Japan.

③ Chikudate, N. (August 13, 2008). If Maturana, Varela, and Deleuze visited Japanese IT workplaces. Paper presented at Academy of Management 2008 Conference, Anaheim, U.S. A.

④ Chikudate, N. (August 11, 2008).

Learning or correction in a safety culture of Japan Rail West: A Foucaultian analysis. Paper presented at Academy of Management 2008 Conference, Anaheim, U.S. A.

⑤ Chikudate, N. (August 4, 2007). A scrutiny of bushido traditions in contemporary unethical business conventions in Japan. Paper presented at Society for Business Ethics 2007 Annual Meeting, Philadelphia, U.S.A.